

みゅーじあむ・船橋



平成30年3月



僕の名前 飛丸

縄文犬の模型 藤原観音堂貝塚で出土した縄文犬の骨をもとに復元しました。
名前は、市民から募集し、「飛丸(とびまる)」と決定しました。

第10号

博物館ニュース	[2]
船橋の明治・大正・昭和 船橋青年団事情 一手記から見えてくる姿	[3-5]
郷土資料館リニューアルオープン!	[6-7]
インフォメーション	[8]

博物館ニュース

この項では、郷土資料館・飛ノ台史跡公園博物館の企画展や事業について、ご紹介しています。今回は、平成 29 年度に実施した企画展や講演会などをご紹介します。

郷土資料館リニューアルオープン記念講演会

郷土資料館のリニューアルオープンを記念して、2人の講師による記念講演会を開催いたしました。

まず平成 30 年 2 月 4 日(日)、市民文化創造館（きららホール）にて、テレビでおなじみの多摩大学客員教授 河合敦氏による「船橋の歴史 おもしろ授業！」を開催いたしました。お寄せいただいたアンケートでは、「船橋の歴史だけでなく、色々な日本の歴史と結びあわせてのお話でとても面白かった」「船橋出身ではないので、初めて知ることも多く、役に立ちました」といったご感想をいただきました。



「船橋の歴史 おもしろ授業！」
講師 河合 敦氏

次に平成 30 年 3 月 11 日(日)、薬

円台公民館にて、立教大学教授 川口幸也氏による「ミュージアムと社会 — 誰が、何のために」を開催いたしました。博物館の歴史や、これからの博物館や美術館像についての内容で、アンケートでは、「博物館の歴史や変遷が体系的に説明されて大変勉強になった」といったご感想をいただきました。

今回の講演会・講座では、20代から80代まで、幅広い世代の方々にご参加いただきました。また、郷土資料館の事業に初めて参加するという方も多く、新しくなった郷土資料館について多くの人に知っていただく良い機会となりました。



「ミュージアムと社会 — 誰が、何のために」
講師 川口 幸也氏

企画展「くらしの道具展 — 道具が語るくらしの歴史」

平成 30 年 1 月 16 日(土)～2 月 4 日(日)、飛ノ台史跡公園博物館で、郷土資料館が所蔵している民具資料を展示しました。

この企画展は、小学校 3 年生の社会科で学習する「むかしの道具とくらし」に合わせて毎年開催しているもので、今回は、主に昭和 30 年代までの生活用具や暖房用具等を展示しました。

今回は、特に「しごと」「ごはん」「くらし」「あそび」の 4 つのテーマに沿って“ちょっと昔”の道具を見て、さわって、人びとのくらしのうつりかわりや、昔から変わらない人のあたたかさを感じられるように工夫しました。

企画展会期中にいただいたアンケートには、小学生や保護者からの「ちょうど授業でやっているのでも勉強になりました」「体験もあって楽しみながら勉強させていただきました」といったご意見や、一般の来館者からの「自分が子供の頃に使っていたものもありなつかしく感じました」といったご意見がありました。



会場の様子

今回リニューアルした郷土資料館、そして飛ノ台史跡公園博物館は、ともに公園の一角にあり、これからは新緑の季節を迎えます。今後も両館では、皆様から「来館してよかった」と思っていただけ展示・事業を行ってまいりますので、ぜひ足をお運びください。

～ 船橋の明治・大正・昭和 ～

船橋青年団事情 — 手記から見えてくる姿 —

1 はじめに

青年団は地域の様々な行事や娯楽、社会奉仕、文化振興等の担い手として、昭和 30 年代頃まで活躍してきました。こうした青年団の活動が地域の運営を下支えしてきたとも言えます。今ではすっかり消えてしまった青年団活動です。

本稿では、特に戦前の市内青年団の活動に焦点を当て、当時の支団長の手記等をもとにして具体像を追ってみます。

青年団造立道標



①道標

船橋県民の森前十字路の手前に、二つに折れたまま横たわっている石標(写真①)があります。矢印とともに、船橋方面、富ヶ沢方面、木下町方面と向かう方面地名が 3 面に彫られ、造立年の面には「昭和三年十一月 大神保支部」と彫られています。

さらに、船橋県民の森の中に入り、広場に向かう道の途中にも石標(写真②)が立っています。造立者の面には「(上部欠損) 建之大神保青年団」と記されています。これらは、当時の地元青年団が立てた道標です。



②道標

『道標』(船橋市郷土資料館 1982 年)によると、この他にも青年団による市内の道標は 5 基確認されています。造立した青年団は、大神保支部以外には、豊富青年団小野田支部、同八木ヶ谷支部です。

大正から昭和初期にかけて、青年団が道路修繕とともに道標を立てる活動が全国的に広まってきました。これら道標はその証といえます。

2 青年団の設立

青年団は発足当初、青年会と称し、江戸時代以来の若連中、若者組、若衆組等といわれた男性の集団を母体として組織されたといわれています。市域内

の青年団の設立を大正から昭和初期に書かれた『東葛飾郡誌』大正 12 年(1923)や町村誌をもとに青年団名と設立年を列挙します。

- 船橋町
 - 船橋町青年団 大正 4 年
 - 船橋町女子青年団 大正 14 年
- 葛飾村 ※昭和 6 年町制
 - 葛飾村青年団 大正 4 年
 - 葛飾村女子青年団 大正 9 年
- 八栄村
 - 八栄村青年団 明治 43 年
- 法典村
 - 法典村青年会 明治 44 年
 - 法典村青年団 大正 4 年改称
- 塚田村
 - 塚田村青年会 明治 44 年
 - 塚田村青年団 訓令により改称(大正 4 年)
- 豊富村
 - 豊富村青年会 明治 43 年
 - 豊富村青年団 大正 5 年改称
- 二宮村 ※昭和 3 年町制
 - 二宮村連合青年会 明治 43 年
 - 二宮村青年会 大正 5 年改称



「二宮青年会」の道路補修工事 大正 7 年(1918)

特に二宮村青年会は、大正 12 年(1923)優良青年団として千葉県から表彰されました。

- 二宮村処女会 大正 10 年
- 二宮町女子青年団 昭和 5 年改称

以上7町村の青年団の設立年から、設立には明治40年代と大正初期の2つの波があったことがわかります。

明治38年(1905)、内務省と文部省から相次いで青年団に関する通牒が発せられました。日露戦争中に活発化した各地方の青年会の活動を、より形あるものにするための後押しとなりました。

続いて大正4年(1915)、内務省と文部省大臣の連名により「青年団体ノ指導発達ニ関スル件」の訓令が、地方長官に対して発せられました。この訓令は地方へ大きな影響がありました。船橋においても国からの要請に応える形で青年団が設立されたことが設立年からわかります。

3 青年団の構成と活動

昭和初期の葛飾村(町)青年団の規約を例として見てみます。

- 団員は、年齢満12歳以上20歳未満の男子をもってする。20歳を過ぎると特別団員となる。
- 団長は町長、副団長は葛飾尋常高等小学校長、幹事は各支団(西海神、山野、印内、寺内、古作、本郷、二子、小栗原)の長とする。常任幹事は小学校訓導に委嘱する。
- 現在(昭和5年)正団員274名、予算高は112円、他、財源は村(町)補助金40円、^{ひすま}穀(註麦の皮・牛の飼料)の共同購入による収益金。
- 穀の共同購入は大正13年の総会で決議した。

団員の構成年齢や指導者として学校関係者が関わっていることから、教育機関としての性質もっていたことがわかります。他に、青年期の教育機関として、青年訓練所と実業補習学校が挙げられます。青年団員はこれらの生徒を兼ねている例がほとんどです。

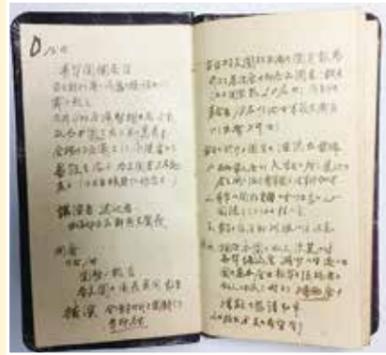
財政基盤は補助金と団員からの会費でまかっています。また、団の活動から収益金を捻出して活動費に充てています。他、夏場の作物監視作業へのお礼金を収益金に充てている法典村の例もありました。

明治22年(1889)、葛飾村は、西海神、山野、印内、寺内、古作、本郷、二子、小栗原の8つの村落をもとにして成立しました。したがって、葛飾村(町)

青年団は、それぞれの旧村落を支団として構成されていました。

二子支団長を昭和初期に務めた人物の手記が残されていました。それをもとに当時の青年団の具体像を追ってみます。

4 二子支団長の手記から



←手帳に残された記録

昭和2年(1927)2月15日の記載部分
支部青年団幹事を務めた大正14年度から昭和2年度までの3年間の記録を手帳に残している。細かな字でびっしりと書かれている。

支団長の略歴

- ・明治35年(1902)東葛飾郡葛飾村大字二子に生まれ、農業に従事する。
- ・大正14~大正15年度支団幹事、昭和2年度に支団長を務める。

以下、記録から主だったものを書き出します。

■道路修繕

昭和2年5月15日「道路修繕区域 大坂より文蔵の側及□□の後並に海道の久兵エと茂左工門の電車道の手前 非常に好成績を以て終る(午後3時半頃) 区長より慰労の印として酒1升茶菓料金2円」

区長からの要望があった道路修繕区域は、事前の話し合いを持ち、団で取り組むことに決定しています。また、牛車を6台確保し、道路上に撒く石炭殻を市川の中村味噌店にもらい受けに行く手配をし、作業に取りかかっています。さらに終了後、作業に尽力した団員へのねぎらいや味噌店へのお礼に行ったことを記しています。

この区域のことは後の記録にも出てきます。

昭和2年10月15日「春団員の篤行により見違えるほど立派に出来たる大坂も日を経るに従い後々破れ初め去月下旬より本日の霜雨にて又又大穴になり通行不能と云ふ程になった」

前回と同様に事前準備をし、作業を終えています。さらに、区長から銭別と酒代を、住民からは茶菓代を

もらい、合計10円50銭になったと記録しています。

道路修繕は、青年団にとって地域の要望に応える大切な作業であり、また多少の収益も出る活動であったことがわかります。

■^{ひすま}穀の共同購入

穀の協同購入は葛飾村(町)の規約にもあるように、支団にとって重要な案件でした。東葛飾郡の青年団総会の際に他町村の活動報告を聞いて、

昭和2年3月12日「我葛飾村の団の仕事なる所の穀の共同購入は実に大なる事業として自分乍ら是の如き事を実行して居ること誓に思われる」

と自信をもって書いています。

毎月の購入数、金額、配布先、運搬用牛車の担当等について欠かさず記録しています。特に価格変動には非常に敏感になっていました。

昭和2年3月28日「商店に於ては出来得る事なれば250銭位にしてほしいと云ふ 自分の方は245銭と主張し商店も案外早く値引を承諾され…」

と記しているように、時には店を訪ね価格交渉をし、一袋あたり5銭の値引きを得ています。

■在郷軍人会との合同演習

青年団と在郷軍人会との関係はとても密接なものでした。講演会の講師を軍人会より招聘したり、合同軍事訓練を実施したりしました。

昭和2年8月25日「葛飾中隊にて3分隊編成す 青年団の服装及外被にてゲートル付葛飾南軍に属する為帽子に白帯着く 集合は午前1時(31日)小校庭に集合在郷軍人会旗及青年団旗及各分隊旗を出す」

と、9月1日に実施する合同演習の具体的方法を事前に細かく打ち合わせをしています。

昭和2年8月31日「午前1時小学校集合 同2時半出発 同3時半市川小学校着 朝食 同5時出発東練兵場着6時 尚軍にて帽子に白帯附す 葛飾中山は予備隊に置かる 6時半演習開始 7時半突撃終了 同演習に煙幕及機関銃参加飛行機参加し 壯観なり」

東練兵場とは国府台の陸軍演習場です。2つの軍に分け、銃器や飛行機も参加しての実戦さながらの雰囲気の中で行われていました。一昨年(大正14年1925)は下志津での訓練を書いていますので、

恒例行事であったことがわかります。



二子支団集合写真 昭和2年頃 村内の神社にて

■競技大会への参加

青年団の活動が広く認知されるようになったのは、明治神宮造営の際、全国各地から青年団が積極的に奉仕活動に従事したからだといわれています。大日本連合青年団発足への機運が高まる中、大正13年(1924)、第1回明治神宮競技大会に青年団の代表選手も参加しました。競技大会参加に向けて、全国各地で予選会が実施されています。

昭和2年8月24日「神宮競技会に出場選手の選出に付郡予選会に出場選手を決す 山野支団の各選手出場に決す 葛飾の予選に於て」

と記しているとおり、まずは東葛飾郡の予選会へ葛飾村から選手を送り込んでいました。

昭和2年9月25日「選手と共に各支団より応援する事となつたるも都合上小栗原 印内 古作の支団長丈出る競技の結果 二百米に〇〇(註人名)3着 尚二百米及百米の選手の1, 2, 3着より選りて郡のリレーチームを造る 〇〇も之中におり県の予選会に出場する事を得る」

と結果をさらに記載しています。

昭和2年10月2日「県の聯合運動会挙行(神宮競技の予選を兼ねて) 〇〇(山野支団)リレーチームの一員として出場に付(中略)昨年より東葛は振るわなかった由」

しかし、県大会は突破できず、残念ながら神宮競技大会へは参加できませんでした。

青年団は地域の自治活動の一翼を担っていました。また、昭和初期には、地方の一青年団も全国的組織の中に位置づけられてきていたのです。

残された手記によって当時の具体的な姿を垣間見ることが出来ます。(Y.M)

郷土資料館リニューアルオープン！

平成 27 年 10 月から休館していた郷土資料館が、耐震補強・バリアフリー化・展示リニューアル等の工事を終えて、平成 30 年 1 月 28 日(日)に、リニューアルオープンしました。

1階 館内案内・ロビー

正面玄関から館内に入ると、右手に「ミニ展示コーナー」があります。オープンからしばらくは、「郷土資料館の 45 年の歴史」と題して、昭和 47 年 6 月 10 日の「広報ふなばし」や郷土資料館の事業で配布した資料を展示しています。

書架には、船橋市の歴史を学べる本や、博物館・美術館等の図録などが配架されており、その場で自由に閲覧することができます。また、船橋市内の歴史スポットや博物館などをタッチパネル式のモニターで紹介する「まちの歴史ナビ」もあります。



正面玄関とミニ展示コーナー

2階 船橋を知るフロア

2階第1展示室入口の「船橋の歴史ガイダンス」は、映像を通じて船橋の歴史を学ぶコーナーです。船橋市の歴史をまとめた映像「ヒストリー・オブ・船橋」と、各時代の資料と出土した遺跡の位置などを投影する「船橋の今昔マップ」を見ることができます。壁面には資料の画像や写真、床面には地図などが映ります。自分が住んでいるところや働いているところなど、身近な地域に注目して見てみてください。



船橋の歴史ガイダンス

映像を見た後は、船橋市の歴史に関するイラストが描かれた「タイムスリップゲート」を通り、通史展示と3つのテーマ展示に進んでいきます。

通史展示では、原始から現代までの船橋市の歴史について、解説パネルと実物資料から学ぶことができます。



展示室内の様子

展示室には、市内遺跡から出土した土器や大刀、近世の古文書、鉄道の沿線案内など、約 250 点の資料が展示されています。通史展示の中の「祈り・信仰」のコーナーでは実物の板碑を、「船橋の産業」のコーナーでは実際に使用されていた農業や漁業の道具を見ることができます。

実物資料は、最新の調査・研究成果を紹介できるように、適宜、展示資料を変えていく予定です。

テーマ展示では、船橋市の歴史を考える上で重要な3つのテーマ「馬たちの風景」「鉄道網の発達」「都

市の発展」を取り上げています。

見どころの一つが、市内で出土した馬骨をもとに復元した中世の馬の模型です。現代のサラブレッドのシルエットと比較すると、大きさの違いがよくわかります。



中世の馬の模型

触ったり、写真を撮ったりすることができます！

「都市の発展」では、「下総三山の七年祭り」や神楽などの民俗芸能の映像を上映する「伝統芸能と祭り」のコーナーや、360度全ての方向から資料を見ることができる展示台があります。色々な資料を色々な角度から見ることによって、新しい発見があるはずですよ。

オープンからしばらくは、高根小学校の昭和 55 年度の卒業生が作った卒業制作「高根小ふきんの立体模型」を展示しています。色々な方向からじっくり見てみると、金杉から高根町、芝山にかけての地形がよくわかります。



展示室内の様子

展示を見終わったら、タッチパネルのクイズ「船橋ヒストリー Q&A」に挑戦してみましょう。

3階 学びと交流のフロア

第2展示室では、主に企画展を開催します。

1月28日から3月11日まで、船橋市市制施行 80 周年記念企画展(写真展)「ちょっと昔と今×居間 @郷土資料館」を開催しました。この企画展では、昭和 20 年代から平成 10 年代頃の写真を、最近撮影した写真と比較しつつ展示しました。また、「昭和の居間」の復元コーナーでは、来館者が靴を脱いで上がり、昔の道具を見たり触ったりして、昭和の生活を少しだけ体験していただくことができました。



「ちょっと昔と今×居間 @郷土資料館」の様子

平成 30 年 3 月 29 日(日)から 5 月 6 日(日)までは、市民アンケート企画展「船橋の『これ、知りたい!』」を開催します。この企画展では、市民を対象に実施した、船橋の「知りたいこと」や「不思議に思っていること」についてのアンケートの回答に関連する資料を展示します。

企画展は、年に 3~4 回のペースで開催する予定です。

これからの郷土資料館

リニューアルした郷土資料館の展示は、以前の展示と比べて、解説パネルに写真やイラストを多く使い、映像コンテンツを充実させています。

また、来館者にとって身近な地域について知ることができるように、取り上げる地域のバランスに配慮し、内容を更新しやすい展示にしました。

今後は、講演会やバス見学会のほか、講座やワークショップ等を開催し、船橋市の歴史や文化について学べる機会をより多く皆様に提供できるように、事業を行っていく予定です。(S.Y)

インフォメーション

郷土資料館

※薬円台公園内のSL運転席は、毎週土曜日・日曜日（年末年始・雨天時を除く）の午前10時～午後4時に公開しています。

【平成30年9月までの行事予定】

期 日	行 事 名	会 場
3月29日(木)～ 5月6日(日)	市民アンケート企画展 船橋の「これ、知りたい！」	郷土資料館 3階 第2展示室
6月3日(日)	地域史講座 ※薬円台公民館と共催	薬円台公民館（船橋市薬円台5-18-1）
5月29日(火)～ 6月17日(日)	リニューアル記念特別展 「知ってみようよ！習志野原」	郷土資料館 3階 第2展示室
7月21日(土)～ 9月2日(日)	第10回千葉県北西部地区文化財巡回展 「まちづくりのヒストリア ～歩いて・掘って・調べて・わかる～」	郷土資料館 3階 第2展示室
7月25日(水)	夏休み歴史見学会	君津市立久留里城址資料館など（予定）

いずれも、詳細は『広報ふなばし』でお知らせいたします。都合により、日程・内容が変更になる場合があります。

飛ノ台史跡公園博物館

※飛ノ台史跡公園博物館では、毎週土曜日・日曜日・祝日の他、小・中学校の夏休み等の期間中に、ワークショップを実施しています。（小学校3年生以下は保護者同伴）

※詳細は毎月1日号の『広報ふなばし』でお知らせいたします。

【平成30年9月までの行事予定】

期 日	行 事 名	会 場
5月26日(土)	バスで訪ねる博物館見学会	土浦市上高津貝塚ふるさと歴史の広場など（予定）
7月22日(日)～ 9月2日(日)	第18回 縄文コンテンツラリー展	飛ノ台史跡公園博物館



協力：船橋市華道連盟

いずれも、詳細は『広報ふなばし』でお知らせいたします。都合により、日程・内容が変更になる場合があります。

ご利用案内・交通案内

郷土資料館

開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

住 所 船橋市薬円台4-25-19

電 話 047-465-9680

F A X 047-467-1399

Eメール kyodo@city.funabashi.lg.jp

交通案内

新京成電鉄 習志野駅下車 徒歩10分

JR津田沼駅北口から
船橋新京成バス「高津団地中央」「北習志野駅」行き、または、ちばレインボバス「八千代緑が丘駅」「船尾車庫」「JR木下駅」行き
「郷土資料館」下車徒歩1分



飛ノ台史跡公園博物館

開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

入館料 一般100円（団体20名以上70円）
児童生徒50円（団体20名以上30円）
市内在住中学生以下 無料

住 所 船橋市海神4-27-2

電 話 047-495-1325

F A X 047-435-7450

Eメール tobinodai@city.funabashi.lg.jp

交通案内

東武アーバンパークライン（野田線）
新船橋駅下車 徒歩8分

京成線 海神駅下車 徒歩15分

東葉高速鉄道 東海神駅下車 徒歩12分

新京成バス
JR船橋駅北口から建鉄循環
「海神中学校前」下車 徒歩1分



休館日カレンダー

4月							5月							6月							7月							8月							9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7			1	2	3	4	5						1	2	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
29	30						27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	29	30	31					26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29

□ は郷土資料館、飛ノ台史跡公園博物館休館日